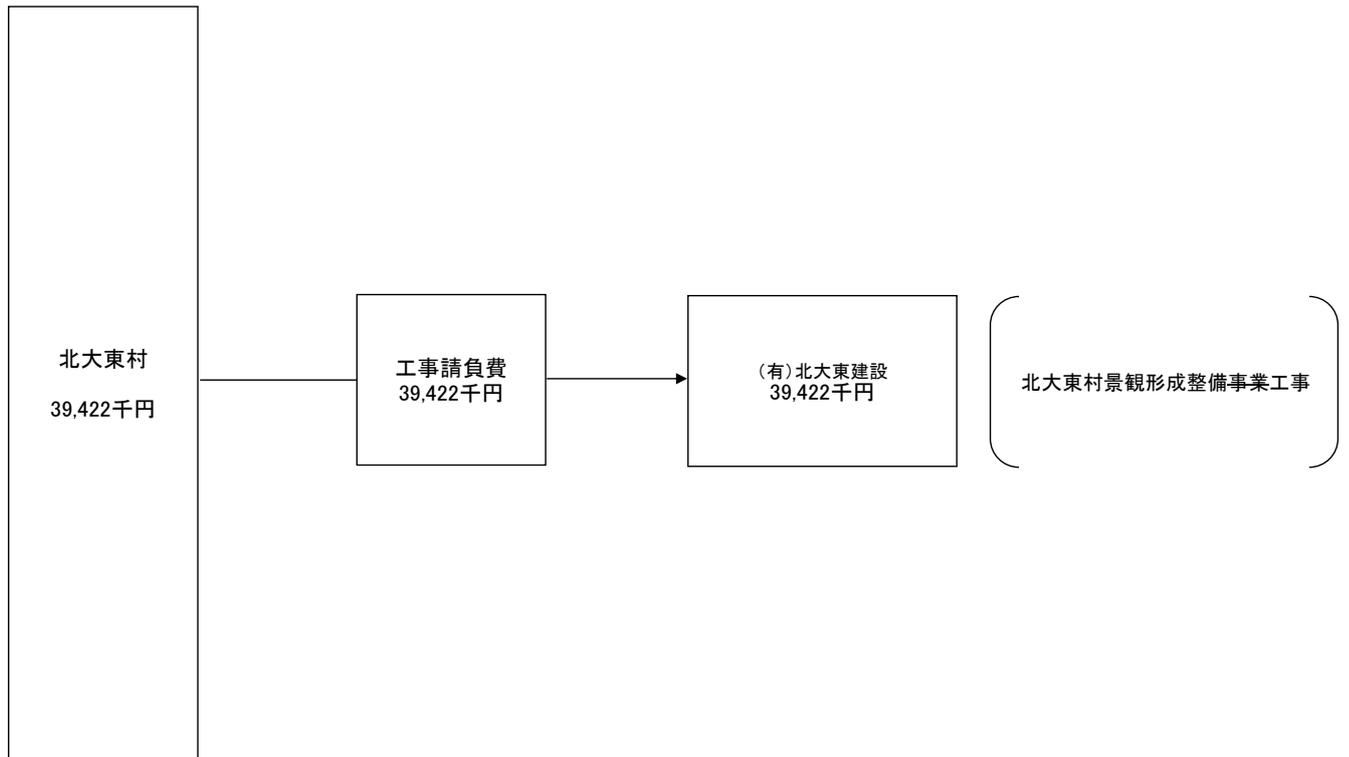


市町村名		北大東村					
平成30年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	北大東村景観形成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
担当部課名	建設課	事業実施(予定)年度	平成26~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興	
事業内容	北大東村特有の地域性にあった景観づくりに向けて、海岸道路沿いにソテツ等を植栽し、緑化を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	27年度	28年度	29年度	H30年度	H30年度(繰越)	
		(a) 当初予算額	10,250	27,000	7,100	37,600	—
	(b) 予算現額	10,250	10,260	10,100	39,692	—	
	(c) 増減額(b-a)	0	▲ 16,740	3,000	2,092	—	
	(d) 繰越額	—	—	—	—	5,000	
	A. 計(b+d)	10,250	10,260	10,100	39,692	5,000	
	B. 執行済額	9,571	10,260	9,504	34,692	4,730	
	うち交付金充当額	7,656	8,208	7,603	27,753	3,784	
	次年度繰越額	0	0	0	5,000	0	
	執行率(%) (B/A)	93.4%	100.0%	94.1%	87.4%	94.6%	
予算の状況の説明	早期の景観効果を得るために2,092千円を増額した。 工事箇所が地域的に集中したことにより、労務者の手配調整に不測の日数を要したため、工事に係る5,000千円をR1年度に繰越した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	村一周海岸道路の植樹環境整備工事の実施:1,000m	目標	(400m)	(900m)	(700m)	(1,000m)	
		実績	400m	900m	700m	1,000m	
	目標	()	()	()	()		
	実績						
達成状況説明	マリンレジャー施設や観光ガイド施設等の観光基盤整備と合わせて、景観性が乏しい村一周道路の海岸沿いを地域性にあった植樹・環境に整備することにより観光誘客を図る。今年度は西港から江崎港向けへ景観形成の環境整備を行った。全長9,000m 進捗率33.89%						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)
	村一周海岸道路の植樹環境整備植樹工事等の完了:1,000m(現進捗率22.78%(全長9,000m))	目標	()	(900m)	(700m)	(1,000m)	()
		実績		900m	700m	1,000m	
	魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	()	()	(80%以上)	()
実績					97%		
進捗状況説明	景観性が乏しい村一周道路の海岸沿いを、西港から江崎港向け(1,000m)に整備を行った。整備対象は全長9,000mであり、令和3年度の整備完了を目標としている。平成26年度から計3,050mを整備済みであり、進捗率については、33.89%となっている。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	アンケートにより大東島らしい岩の景観も残してほしいと要望があった。	一周道路の全長9,000mの景観形成を予定していたが、北大東島特有の岩礁や風景などがある箇所についての植栽工事について更なる検証が必要と考える。
今後の取り組み方針		
既存の岩礁や風景などを活かし、地域性に適合した植樹・景観形成整備を継続実施し更なる観光誘客に繋げる。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
39,422	39,422	31,537	7,885	0



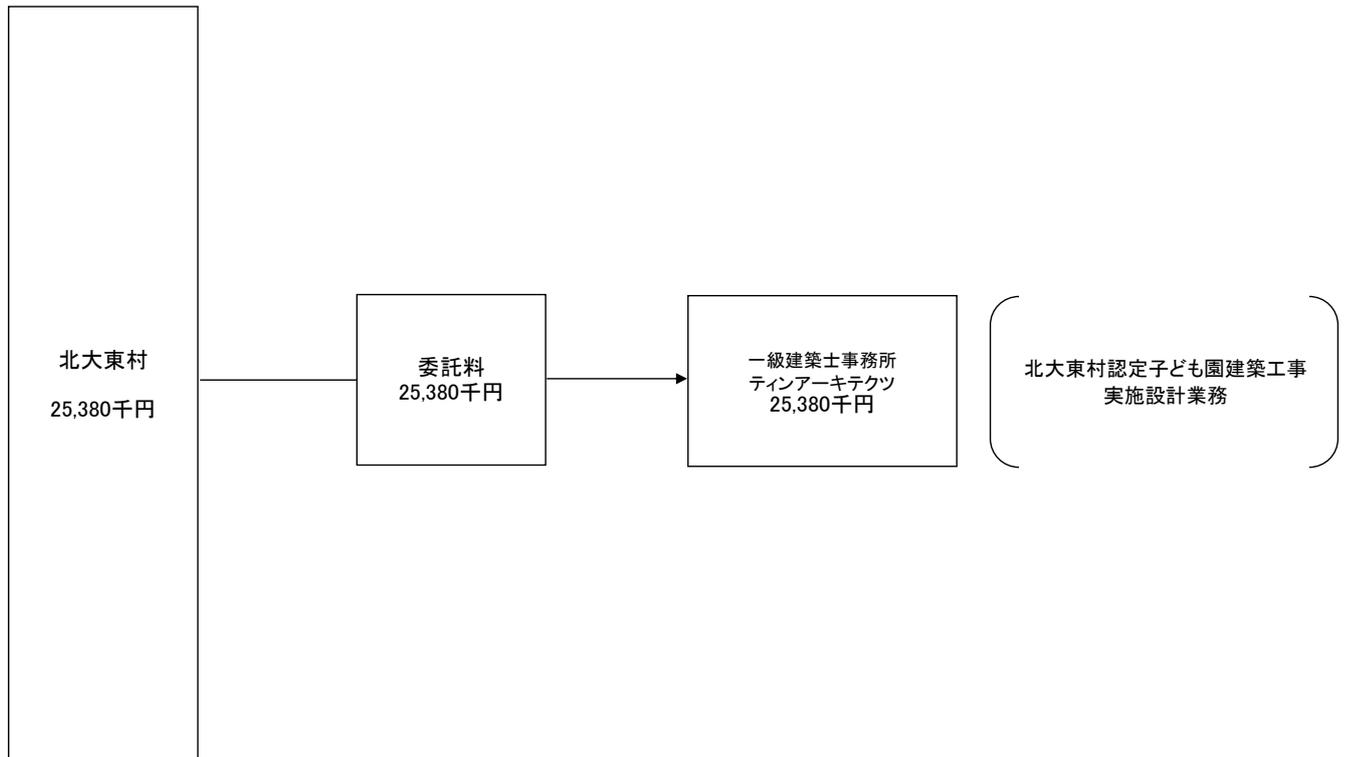
資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名入札方式により適正に選定しており、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、事業趣旨から適正な予算規模であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北大東村						
平成30年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8	北大東村認定子ども園整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ		
担当部課名	福祉衛生課	事業実施(予定)年度	平成30~令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-4		
事業内容	認定子ども園の設置に向けた実施設計を作成する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和3年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	26,000	-			
		(b)予算現額	26,000	-			
		(c)増減額(b-a)	0	-	0	0	0
		(d)繰越額	-	10,000			
		A.計(b+d)	26,000	10,000	0	0	0
	B.執行済額		15,380	10,000			
	うち交付金充当額		12,304	8,000			
	次年度繰越額		10,000	0			
	執行率(%) (B/A)		59.2%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		現場の先生との最終確認や主管課との調整のため来島予定であった委託業者が度重なる飛行機欠航や島内宿泊施設の満室などが重なり不足な日数を要したため、委託に係る10,000千円をR1年度に繰越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	認定子ども園の設置に向けた実施設計の実施	目標	(実施設計の実施)	()	()	()	
		実績	実施設計の実施				
		目標	()	()	()		
		実績					
達成状況説明	平成30年度に実施設計を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)
	実施設計完了	目標	()	(実施設計の完了)	()	()	()
		実績		実施設計の完了			
	【参考指標】(保育部分) ・待機児童0 (幼稚園部分) ・発育度が向上したか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	()	()	()	()	(0人・80%以上)
		実績					
進捗状況説明	令和2年度に施設完成予定であり、令和3年4月より施設利用開始を予定しているため令和3年度より目標を設定した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本村には認定こども園及び保育施設がないため、実施設計の完了に伴い、令和元年度以降に早急に整備に着手する必要がある。	入札に関する事務手続きや入札後における工事の進捗状況を適正に管理しながら、早期の施設整備完了に取り組む必要がある。
今後の取り組み方針		
保護者の育児負担軽減の観点から、速やかに入札に着手する。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
25,380	25,380	20,304	5,076	0



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名入札方式により適正に選定しており、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、事業趣旨から適正な予算規模であったと考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	